

第25回全国果樹技術・経営コンクール受賞者及び表彰式の開催について

標記について、下記のとおり決まりましたのでお知らせします。

記

1 コンクールの審査結果及び受賞者
別紙

2 表彰式

日時 令和6年2月15日（木）
午前11時40分より

場所 東京都千代田区霞が関1-1-1
法曹会館 2階「高砂」

問い合わせ先

公益財団法人 中央果実協会

電話 03-6910-2922 担当 小森

別 紙

第25回全国果樹技術・経営コンクールの審査結果について

一般社団法人全国農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会、日本園芸農業協同組合連合会、全国果樹研究連合会及び公益財団法人中央果実協会では、我が国の果樹農業の発展や果樹農家の経営改善に資するよう、平成11年度から毎年度「全国果樹技術・経営コンクール」を実施しております。

本年度は、全国から参加応募があり、都道府県段階の第一次選考を経て、全国段階で開催された審査会（審査会座長：福元 将志 元農業・食品産業技術総合研究機構理事兼果樹研究所長）及びその後に行った現地調査において、別添のとおり農林水産大臣賞4点、農林水産省農産局長賞6点、関係団体会長賞4点が決定されました。

受賞された方々は何れも、生産技術、経営内容ともに優れ、他の模範となる果樹農業者及び集団であります。

第25回全国果樹技術・経営コンクール 受賞者一覧

農林水産大臣賞		
氏名・集団名	住 所	
かわむらただのり かわむらとみこ 川村忠則・川村富子	あおもりし 青森県青森市	リンゴ、サクランボ、 モモ、ナシ
うちだやすひこ うちだやすよ 内田安彦・内田泰代	がまごおりし 愛知県蒲郡市	柑橘類
フルーツ山梨農業協同組合 かつぬま 勝沼生産部会露地ぶどう部	こうしゅうし 山梨県甲州市	ブドウ
農事組合法人いなば新水園	やづちょう 鳥取県八頭町	ナシ
農林水産省農産局長賞		
氏名・集団名	住 所	
さとうひであき さとうとおる 佐藤秀明・佐藤徹	はなまきし 岩手県花巻市	ブドウ(施設)
あさかわゆたか あさかわゆ み こ 浅川豊・浅川由美子	みなみあるぶすし 山梨県南アルプス市	スモモ
たかやまともみ たかやまいくこ 高山知己・高山育子	たいしちよう 大阪府太子町	ブドウ
きょうえいかんきつしゆつかくみあい 共栄柑橘出荷組合	きのかわし 和歌山県紀の川市	柑橘類
まつおぼっちゃんくらぶ 松尾坊ちゃん倶楽部	いまぼりし 愛媛県今治市	愛媛県試第28号 (紅まどんな)
ちくぜん 筑前あさくら農業協同組合かき部会	あさくらし 福岡県朝倉市	カキ
関係団体賞		
【全国農業協同組合中央会会長賞】		
氏名・集団名	住 所	
きとう 木頭ゆず振興協議会	なからちよう 徳島県那賀町	ユズ
【全国農業協同組合連合会経営管理委員会会長賞】		
氏名・集団名	住 所	
つ だちかき 津田親喜	さいきし 大分県佐伯市	柑橘類
【日本園芸農業協同組合連合会会長賞】		
氏名・集団名	住 所	
すわえいち すわかずえ 諏訪恵一・諏訪佳津枝	たかまつし 香川県高松市	温州ミカン
【全国果樹研究連合会会長賞】		
氏名・集団名	住 所	
まつだひろき 松田博喜	ひのかげちよう 宮崎県日之影町	施設キンカン

第25回全国果樹技術・経営コンクール 農林水産大臣賞受賞者の概要

◎観光果樹園を核に野菜、花き、農産加工を組み合わせ通年雇用を実現

青森県 ^{あおもりし}青森市 (りんご、おうとう、もも、なし他)
^{かわむら}川村 ^{ただのり}忠則・^{かわむら}川村 ^{とみこ}富子

りんご、おうとうなどの観光果樹園と野菜・花き栽培、加工品開発を展開し、
全国向け宅配やスーパーマーケットの産直コーナーで販売

- りんご 36 品種におうとう、ももなどを組み合わせ、6 月から 11 月中旬まで長期間にわたり観光果樹園を運営。SNS 等による広報活動、翻訳ソフトの活用により台湾など海外観光客も増加。
- 観光果樹園での宅配と園内販売を核に、地元スーパーでの産直販売やジュース等の加工品開発、レストランへの供給を展開。
- 技術面ではりんごの低樹高で作業効率に優れた中間台方式や、おうとうの雨よけハウスの導入により高品質化を図るなど、品質向上と安定的な収穫量を確保。
- 福祉施設との農福連携、38 年継続している地元小学校での校外学習、果樹・野菜・花き栽培、農産加工、宅配の多角経営による通年雇用など、地域に大きく貢献。

◎作業の分散や効率化等により家族労力主体のかんきつ専作経営で高い収益性を確保

愛知県 ^{がまごおりし}蒲郡市 (柑橘)
^{うちだ}内田 ^{やすひこ}安彦・^{うちだ}内田 ^{やすよ}泰代

園地 110a で温室みかん、露地みかん、樹熟デコポンを栽培、園地集約等により高位安定した地域のモデルとなるかんきつ経営を実現

- 地中冷却システムによる極早期加温栽培を導入し、園地特性に合わせ加温時期を設定することで温室みかんの収穫時期を分散。また、品目・品種をバランスよく組み合わせ、5 月から 8 月に温室みかん、9 月から 1 月に露地みかん、

4月に樹熟デコポンを出荷し、出荷時期を分散。加えて、全ての園地を自宅から車で5分以内の場所に集約することで作業の効率化を徹底し、ほぼ家族労力のみで高収益経営を実現。

- 温室加温用のヒートポンプ導入と被覆多層化により重油の使用量を約30%削減。
- 蒲郡柑橘組合の柑橘組合長や役員を11年間勤め、「樹熟デコポン」の生産拡大やブランド確立、データに基づいた高品質なみかん栽培高位平準化を図り産地活性化に大きく貢献。

◎外観品質と食味を重視した選果基準により「かつぬま」ブランドを確立

山梨県 <small>こうしゅうし</small> 甲州市 (ぶどう) フルーツ山梨農業協同組合 <small>かつぬま</small> 勝沼生産部会 露地ぶどう部
構成員500戸、ぶどう栽培面積約200ha、デラウエア、巨峰・ピオーネ、シャインマスカットなど全国屈指の17品種を共選出荷

- デラウエアから巨峰・ピオーネ、シャインマスカット、その後の甲斐路系品種や甲州種など多様な品種と標高差を生かした栽培により、7月から11月まで途切れることなく出荷することで市場から高い信頼。
- 外観品質に加え「食味第一」をモットーに選果基準を厳格運用し、「かつぬま」ブランドの付加価値を向上。
- 令和元年度に「やまなしGAP」の認証取得、一人一人が適正な栽培管理や農薬管理、労働安全管理の定着に積極的に取り組み。
- 全国有数のぶどう産地として様々な品種の検討や有望品種の導入に取り組み、栽培技術確立して地域内で技術を共有。省力化を目指した短梢せん定、簡易雨よけ栽培などの新技術についても、県内でいち早く積極的に推進。

◎優良品種と「樹体ジョイント仕立て」技術を取入れ集団組織での収益向上、組合員増加を実現

鳥取県 <small>やづちょう</small> 八頭町 (なし) 農事組合法人いなば <small>しんすいえん</small> 新水園
先進的に水田転換による団地造成や共同防除体制に取り組み、高齢化等に

よる組合員減少に直面する中で、新品種や新技術を導入し、収益向上と組合員増加を実現

- 昭和 47 年に水田転換により造成したなし団地へ「新水」「新興」「豊水」を導入、共同防除体制により病虫害被害の低減や組合員の負担を軽減。
- 高齢化による組合員減少や気象災害等の課題に直面するも、「新甘泉」等の優良品種への転換、「樹体ジョイント仕立て」技術の導入、組合独自の指導会や研修会の実施等によりなし経営の魅力を高め、組合員は増加。
- スマートフォンにより気温確認を行う気温モニタリングシステムを導入し、燃烧法等による凍霜害対策を構築。
- 「新甘泉」等と「樹体ジョイント仕立て」技術を取入れた栽培は近隣地域にも波及し、他地区においても新規就農者や新規参入者等が増加。